アンナ（1951）

ANNA

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国　イタリア／フランス
色彩　B&W
時間　95分
初公開日 1953/11/29
公開情報 イタリフィルム＝松竹洋画部

【解説】

有名な主題歌“Ei Negro Zum Bon”をＳ・マンガーノが唄い踊るシーンは、ナンニ・モレッティの「親愛なる日記」（93）に挿入されていたが、モレッティがその振付けをそらんじていて、画面に合わせて踊るのがいかにも映画愛に溢れていた。これは、その後の彼のセリフにある様に“尼さんが突然ダンサーになって踊り出す”奇妙な物語。元ナイトクラブの歌手だった主人公アンナは、今は白衣の尼僧として病院勤めの身。彼女を俗世から断って信仰の世界へ導くことになった、ヤクザの情夫（Ｖ・ガスマン）と恋人（Ｌ・ヴァローネ）の諍い事を、事故で入院して来たヴァローネと再会する事で回想し、未だ彼に心を残す自分に気付き煩悶する……。その回想があまりに唐突なので、モレッティが語る様な印象を残すが、話しの作り自体はメロドラマ。マンガーノの姿勢が妖艶である。

【クレジット】

監督	アルベルト・ラトゥアーダ	Alberto Lattuada	
製作	ディノ・デ・ラウレンティス	Dino De Laurentiis	
	カルロ・ポンティ	Carlo Ponti	
脚本	ジュゼッペ・ベルト	Giuseppe Berto	
	フランコ・ブルサーティ	Franco Brusati	
	イヴォ・ペリリ	Ivo Perilli	
	ディノ・リージ	Dino Risi	
	ロドルフォ・ソネゴ	Rodolfo Sonego	
撮影	オテッロ・マルテッリ	Otello Martelli	
編集	ガブリエル・ヴァリエール	Gabriele Varriale	
音楽	ニーノ・ロータ	Nino Rota	
出演	シルヴァーナ・マンガーノ	Silvana Mangano	アンナ
	ギャビー・モルレー	Gaby Morlay	修道院長
	ラフ・ヴァローネ	Raf Vallone	アンドレア
	ジャック・デュメニル	Jacques Dumesnil	フェッリ教授
	ヴィットリオ・ガスマン	Vittorio Gassman	ヴィットリオ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.